

高圧ガス製造設備保安検査点検表（一般則第6条関係・不活性ガス）

1. 事業所概要

事業所名称			
事業所所在地	〒		
許可年月日・番号	年 月 日		第 号
ガス名・処理能力	ガス名		Nm ³ / 日
製造設備	貯蔵設備等		処理設備
	容量		名称
	型式		処理能力
	容器本数		開放検査
保安検査	年 月 日 氏名		印 氏名 印
協会指導	年 月 日 氏名		印 氏名 印
立会者	保安検査	氏名 印	協会指導 氏名 印

2. 記録簿

危害予防規程	S・H・R 年 月 日 認可・届出 有・無			
保安教育計画	保安教育計画書	S・H・R 年 月 日 有・無		
	今年度の策定状況	有・無 適・否		
定期自主検査	自 年 月 日	実施者		
	至 年 月 日			
申請書類等の整備	適・否	日常点検	適・否	
基準類の整備状況	適・否	受払記録	適・否	
設備台帳補修記録	適・否	充填記録	適・否	
保安教育実施記録	有・無			
防災訓練実施記録	有・無	実施日	年 月 日	

3. 保安管理組織

保安統括者	職名: 氏名:	同代理者	職名: 氏名:
保安技術管理者	氏名: 免状: 講習: H・R 年	同代理者	氏名: 免状: 講習: H・R 年
保安係員	氏名: 免状: 講習: H・R 年	同代理者	氏名: 免状: 講習: H・R 年
保安係員	氏名: 免状: 講習: H・R 年	同代理者	氏名: 免状: 講習: H・R 年
保安監督者	氏名: 資格:		

* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

4-1. 定置式製造設備に係る技術基準(一般則第6条第1項)

ガス名

(1) 製造設備等

検査項目	方法	内容	結果	備考
1. 境界線警戒標	目視	製造事業所 境界線の明示： 有・無 警戒標の設置： 有・無	適 不適	第1項第1号 例示基準1
2. 設備距離	計測 目視	第1種設備距離： 法定 m、実測 m 第2種設備距離： 法定 m、実測 m	適 不適	第1項第2号
3. 耐圧試験	目視記録	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧力で漏えいしない。 試験圧力： MPa 非破壊検査(肉厚計測除く)の実施記録 年 月	適 不適	第1項第11号 例示基準7
4. 気密試験	試験 目視記録	・製造設備は常用以上の圧力で漏えいしない。 試験圧力： MPa 使用ガス名： ・CEの場合の試験圧力 受入部 MPa、貯槽部 MPa	適 不適	第1項第12号 例示基準7
5. 肉厚計測	計測 記録	記録の保存： 有・無 計測年月日： 年 月 日	適 不適	第1項第13号 例示基準8
6. 材料規制	記録	例示基準第9号で定める材料を使用していないこと。	適 不適	第1項第14号 例示基準9
7. 基礎の緊結	目視記録	貯槽(1t以上)の支柱は同一の基礎に緊結すること。	適 不適	第1項第15号 例示基準10
8. 不同沈下	目視記録	毎年1回以上測定し、その記録を保管する。 計測年月日： 年 月 日 上記以外の場合(設置5年以上、基準適合のみ) 目視検査実施日： 年 月 日	適 不適	第1項第16号 細目告示第10条 例示基準11
9. 耐震構造	目視記録	地震の影響に対し安全な構造とすること。	適 不適	第1項第17号 耐震告示
10. 温度計等	目視試験 記録	比較テストを行い、記録を保管すること。 範囲内にもどすための措置： 有・無 試験年月日： 年 月 日	適 不適	第1項第18号 細目告示第6条 例示基準12
11. 圧力計	目視試験 記録	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示： 有・無 有効年月日の表示： 有・無 試験年月日： 年 月 日	適 不適	第1項第19号 細目告示第7条 例示基準13
12. 安全装置	目視試験 記録	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管 吹始圧： 設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧： 設定圧力の80%以上 作動テスト年月日： 年 月 日	適 不適	第1項第19号 細目告示第7条の2 例示基準13
13. 貯槽の液面計 (液化ガス)	目視	液面計の型式： 90%の表示： 有・無	適 不適	第1項第22条 例示基準16

ガス名

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
14. 保安電力	目 視 試 験 記 録	保安電力の種類 : 定期検査の記録 : 有 ・ 無 定期検査年月日 : 年 月 日	適 不 適	第1条第27号 細目告示第9条 例示基準20
15. 障 壁	目 視 記 録	圧縮機と10MPa以上の高圧ガスの充填場所又は 充てん容器置場との間の障壁 有 ・ 無 (高さ cm × 厚さ cm) 障壁の構造 :	適 不 適	第1項第30号 例示基準22
16. 温度上昇 防止装置	試 験 記 録	対象 ~ 可燃性ガス貯槽又は可燃性物質周辺の貯槽 水源の確保 : 必要量 m ³ 実測 m ³ 散水量 : 適 ・ 不適	適 不 適	第1項第32号 例示基準24
17. 通報設備	試 験 目 視	通報設備の種類 : () 通報設備の作動状況 : 適 ・ 否	適 不 適	第1項第40号 例示基準32
18. バルブ 誤操作 防止措置	目 視	バルブの開閉方向の明示 : 有 ・ 無 配管内の流体名・方向の明示 : 有 ・ 無 安全弁元バルブの封印等 : 有 ・ 無 適切な足場、照度の確保 : 有 ・ 無	適 不 適	第1項第41号 例示基準33

(2)容器置場 (面積 : m²)

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
19. 警 戒 標	目 視	警戒標の設置 : 有 ・ 無 維持管理状況 : 適 ・ 否	適 不 適	第1項第42号のイ 例示基準 1
20. 置場距離	目 視 計 測	第1種置場距離 : 法定 m 、 実測 m 第2種置場距離 : 法定 m 、 実測 m	適 不 適	第1項第42号のハ
21. 障 壁	目 視	有 ・ 無 (高さ cm × 厚さ cm) 構 造 :	適 不 適	第1項第42号のニ 例示基準22
22. 容器置場 の維持管理 状況	目 視	容 器 置 場 面 積 : m ² 充填容器と残ガス容器の区分 : 有 ・ 無 温 度 計 : 有 ・ 無 作 業 心 得 : 有 ・ 無 整 理 整頓 : 有 ・ 無 転 落 ・ 転 倒 防 止 措 置 : 有 ・ 無	適 不 適	第2項第8号

4 - 2. 定置式製造設備に係る技術基準(一般則第6条第2項関係、その他)

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
1. 車 止 め	目 視	車止めの有無 : 有 ・ 無	適 不 適	第2項第2号のハ

ガス名

検査項目	方法	内容	結果	備考
2. 断熱性能	試験 記録	断熱方法： 真空度：0.0266 kPa 昇圧度：規定充填量の1/2以上で12時間当たり の昇圧が0.1MPa以下(1200L以下は 0.2MPa)を超えないこと。	適 不適	参考

5. 氣密試驗結果

漏 洩 : 有 · 無	処 置 : 濟 · 否 (処置者 :)
漏洩箇所 :	

6. 指示·指導事項